

の方向性はどつするの。

**答弁**

すべての不足分を保険税で賄うことになれば、かなりのアップになる。他の市町村も法定外繰り入れなどで激変緩和の意味もあり抑えているのが現状。

今後大変厳しい状況が続くと思っている。恐らく基金に積むことはできない。

**■介護保険特別会計予算**

**質疑**

愛西市の特別養護老人ホームの待機者は急増している。数字を市は知っているか。新介護保険計画でこの状況の打開についてどう進めるのか。

**答弁**

実数はつかみにくい状況だが、待機がたくさんあるということは承知している。

特別養護老人ホームの整備は、海部津島の圏域で考え、現在88床の整備が可能だが、手を挙げる事業者がない。



**国民健康保険税条例の一部改正**

**賛成討論**

今税率改正をせず、一般会計からの繰り入れを続けられれば、国保財政だけでなく、市の財政までも破綻しかねない。まだ地方交付税が大きく減額されていない、合併特例債の返済が始まらないこの時において税率改正はありえない。

**反対討論**

合併時に交付税の算定替えなどで対応できるとしていた。基金の枯渇は、一般会計からの繰入を大きく減らし、取り崩してきたのが事実。不況で市民の生活が困難な今、引き上げを行うべきでない。交付税の算定替えが行われている15年の間に医療費の削減に努力すべき。

**愛西市総合斎苑指定管理者の指定**

**賛成討論**

総合斎苑は、周辺住民の協力と理解がなければできない。行政として出来る限りの対応をし、指定管理者は地域住民の理解が得られる事業運営に努めてほしい。火葬業務以外の斎場業務は、多くの民間事業者が運営しており、十分考慮していく事を願う。

**反対討論**

総合斎苑建設は、行政改革との整合性がとれていない。手続きでも脱法的行為があり、ムダな道路を造った事への疑義も消えていない。現在裁判中の案件であり、手続きを進める事に賛成できない。

**23年度一般会計予算**

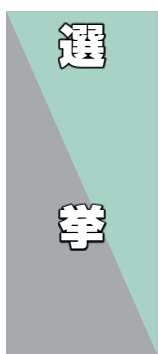
**賛成討論**

今年度予算は、市民生活に直結する事業や緊急性が高く滞る事が許されない施策などを念頭においている。防災コミュニティセンター建設事業は地域の連携をはかり、災害に強いまちを構築し、統合庁舎整備事業などは、市民の生命財産を守る事業。また、勝幡駅周辺整備事業や橋梁長寿命化事業、環境に優しい学校給食センターなど市民に必要であり、成し遂げていかなければならないもの。今後いつその行財政改革、経営の合理化で健全財政を維持し、市民の期待に応え、更なる市の発展につとめるようお願いする。

**反対討論**

厳しさを増す市民のくらしや営業を支え、市民の声にこたえたくらして福祉施策の充実が強く求められている。家具転倒防止金具取り付け事業、

子宮頸がんワクチンの助成、放課後子ども教室の拡大、行政防災無線整備、防災コミュニティセンターの市内全域整備に向けた予算など、住民要望に応え、まちづくりの整備をすすめている面もある。しかし、疑問だらけのPFIによる「給食センター」の建設、初の民間営利会社への「スポーツ10施設」の指定管理などは、市民の雇用を奪い、公の施設で働く職員の低賃金化を推し進める。庁舎統合計画や消防の広域化に向けた「海部地方消防司令センター」の整備も問題がある。



**海部地区急病診療所  
組合議会議員**

近藤健一 議員  
鷲野聡明 議員  
を選びました。